

2 病院の沿革

- 昭和 18 年 10 月 田島町上町に個人施設を借受け日本医療団田島病院として発足。
- 昭和 24 年 7 月 日本医療団解散に伴い県立病院として引継ぐ。(内科・外科)
- 昭和 27 年 8 月 田島町寺前に改築移転 (内科・外科 60 床)
- 昭和 39 年 11 月 既存の内部を改築して、32 床増床、92 床となる。
- 昭和 41 年 2 月 手術室を増築する。
- 昭和 43 年 10 月 火災により病棟、炊事棟等施設の約半分 (約 980 m²) を焼失し 52 床となる。(42 床減少)
- 昭和 45 年 11 月 老朽化に伴い、田島町天道沢に新築移転
(一般病床 60 床、結核病床 15 床、伝染病床 15 床)
(内科・外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科)
- 昭和 56 年 8 月 結核病床を一般病床に転換
(一般病床 75 床、結核病棟 0 床、伝染病棟 15 床)
(内科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科)
- 昭和 58 年 12 月 救急協力病院に認定される。
- 平成 2 年 2 月 CT (全身用コンピュータ断層撮影装置) 導入
- 平成 3 年 3 月 老朽化、狭隘化及び医療需要増加に伴い、県立田島病院整備基本構想を策定
- 平成 4 年 3 月 移転改築のための用地取得 (田島町風下地内 20,816 m²)
- 平成 5 年 7 月 新病院建築工事着工 (鉄筋コンクリート 2 階建 延 8,998.30 m²)
- 平成 6 年 5 月 職員宿舎建築工事着工 (医師 10 名、職員 24 名)
- 平成 7 年 2 月 MR I (磁気共鳴断層撮影装置) 導入
- 平成 7 年 4 月 新病院庁舎で診療開始
病院名変更 (県立田島病院→県立南会津病院)
(一般病床 150 床)
(内科・外科・産婦人科・小児科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科)
- 平成 8 年 11 月 地域災害医療センターに指定を受ける。
- 平成 11 年 4 月 救急告示病院に認定される。
- 平成 12 年 5 月 麻酔科診療開始
- 平成 16 年 3 月 臨床研修病院 (協力型 (自治医大・県立医大)) の指定を受ける。
- 平成 16 年 5 月 地域リハビリテーション広域支援センターの指定を受ける。
- 平成 16 年 6 月 へき地医療拠点病院の指定を受ける。
- 平成 19 年 2 月 皮膚科診療開始
- 平成 21 年 3 月 許可病床数変更 (一般病床 150 → 100 床)
- 平成 22 年 3 月 神経精神科診療開始